

令和8年度第1回長岡京市景観デザイン審査会議事録

日 時： 令和8年5月20日（水曜日）午後3時30分～5時

場 所： 長岡京市役所 新庁舎6階 会議室601

出席委員： 山口委員、栗山委員、小山委員

傍 聴 者： 0名

公開・非公開の別：公開

案 件： 【公共施設】犬川河川環境整備

議 事：

1. 舗装（色彩）

- ・ カラー舗装の色彩について、彩度が高いものは周辺環境となじまないため避けること。周辺の景観に調和する低彩度・自然素材色・土系色を基本とすること。また、歩道と自転車道の色分けは、同系色（YR系が望ましい）の明暗で分離すること。

2. 植栽

- ・ 植栽計画について、単調で均質な計画となっていることから、リズム感や変化をもたらすことが望ましい。例えば、等間隔の植込み間隔をやや不規則な配置に調整したり、季節を感じられる樹種を混栽する、あるいは、既存樹木を活かすことで、樹種や樹高、配植の密度に変化を付けることなどが考えられる。
- ・ 既存樹木の足元は、低木ではなくグランドカバープランツが望ましい。

3. 眺望スペース

- ・ 舗装は周辺の田園景観に調和した色合い（土系など）の製品を選ぶこと。
- ・ 休憩スペースとして、暑い中でもより快適に過ごせる空間となるよう、できるだけ日陰を創出すること。例えば、樹木による木陰の創出や、現在の案より大きな四阿を設置するなどが考えられる。
- ・ 出入口について、散策路側にも入口を設けるなど人が入りやすいような動線を確保すること。ボラードチェーンについては、現在の案では人を拒むような印象を与えるため、安全性を考慮した上で、配置や製品について再検討すること。

4. 護岸コンクリート張

- ・ 幾何学的な線が目立たず（面取りがなく）、自然石の風合いや陰影をもつ景観性の高い化粧間知ブロックなどを施し、周囲の景観との調和へ配慮すること。
- ・ 「明度」に関しては、明度6以下を目安とする。